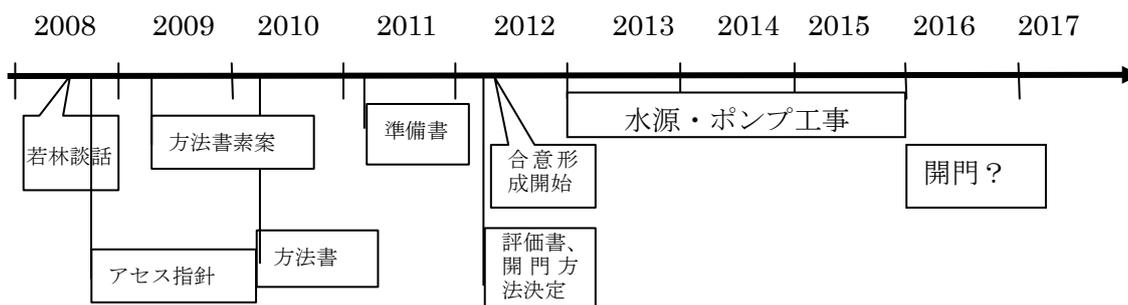


# 即時開門を可能にする段階的開門法

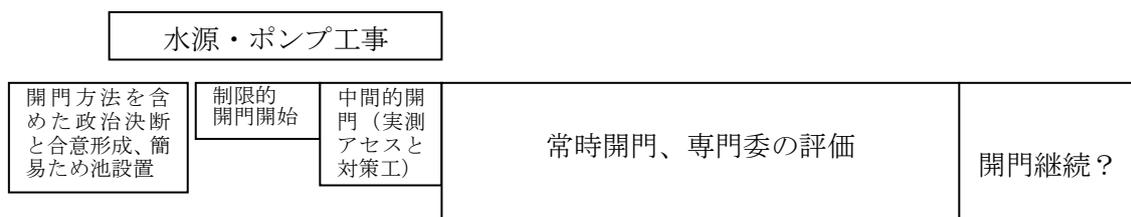
## 1. 経緯

- 97年 堤防閉め切り
- 01年 ノリ第三者委、短中長期開門調査提言
- 02年 短期開門調査
- 03年 中長期開門調査検討会議報告書
- 04年5月 亀井農相の開門調査見送り表明
- 8月 佐賀地裁工事差し止めの仮処分決定
- 05年5月 福岡高裁、佐賀地裁決定を取り消すも「中長期開門調査は責務」
- 08年4月 営農開始
- 6月 佐賀地裁開門命令判決「本判決を契機に、すみやかに中長期の開門調査が実施されて、その結果に基づき適切な施策が講じられることを」
- 7月 若林談話「控訴とアセス、開門調査を含め今後の方策は関係者の同意を得ながら」
- 10年2月 赤松農相答弁「委員会を設置。1～2ヶ月で」
- 4月 政府与党検討委「環境影響評価を行った上で、万全の事前対策による地元関係者の理解を得ることを前提として、開門調査を行うことが適当」「営農や漁業に支障が生じた際の補償の観点も考慮」

### 農水省の当初スケジュール



### 漁業者側対案



## 2. 開門調査に関する実施済みのアセス

- 1) 短期開門調査前に各種コンピュータ解析を実施 (資料1) ⇔ 一定の開門効果
- 2) 中長期開門調査検討会議 (委員は全員官僚OB) では、

「いきなり全開」を想定したアセスを実施 (資料2)

「中長期開門調査検討会議専門委員会報告書」p.7-6～7-7

中・長期開門調査によって発生することが予測される影響と対策は、以下のとおりである。

### 1) 諫早湾内の環境と漁業への影響と対策

短期開門調査においては、底泥の洗掘が生じない流速以下になるようにゲート操作が行われたが、より大きな水位変動を与える場合には、排水門内外の近傍で速い流れが発生する。このため、浮泥や底泥の洗掘と巻き上げが起り、濁りが潮汐とともに調整池内と海域を移動し、流速の遅い南北樋門間の潮受堤防近傍や諫早湾沿岸部のアサリ漁場などに堆積することが想定される。

このような調整池内の濁りの発生や大量の海水の出入りによる排水門の近傍の速い流れ等により、諫早湾内の漁場環境や漁船航行への影響が想定される。このため、これらの影響を事前に予測し、底泥の巻き上げを防止する等の対策を講じ、また湾内漁業者の理解を得る必要がある。なお、開門の程度によっては、その影響は諫早湾内外に及ぶことも考えられる。また、海水の導入によって、調整池内の大量の淡水生物が死滅し、一時的に、調整池・諫早湾とも水質悪化や悪臭発生などが生じたり、調整池内のヨシが枯れ、流れ出すことも考えられる。

### 2) 背後地への影響と対策

調整池の塩水化にともなって、旧干拓地の水源となっている既設堤防の背後にある潮遊池等に塩水が浸入し、背後地農地への塩害が生じる恐れがある。

このため、かんがい期・洪水期を避け、調整池水位を-1.0 ～-1.2m に管理して行った短期開門調査においては、既設排水樋門に調整池からの塩水浸入を防ぐ対策を講じた。また、洪水に対する対策等も行っている。

中・長期開門調査を行えば、短期開門調査に比べ影響を受ける期間と範囲が拡大するため、より多くの既設排水樋門等において、より確実な塩水浸入及び洪水対策が必要となる。調査が長期に及ぶ場合には、特に潮遊池を水源としている地域では農業用水が逼迫していることから、さらに別途かんがい用水を確保する必要がある。

このほか、潮風害(台風や強風によって調整池の塩水が巻き上げられて周辺に飛散し発生する背後地の農作物の塩害)の発生が懸念されるが、可能な限りの対策を行ったとしても、完全に防止することは難しいことに留意する必要がある。

### 3) 排水門等施設の安全対策

排水門の近傍で生じる速い流れによって、排水門基礎の洗掘が起り、排水門の安全性に影響を及ぼすことが懸念されるので、排水門基礎部護床工の補強、拡張といった対策が必要である。

この外、中・長期開門調査の実施方法によっては、施設の安全性に支障が生じる可能性があるため、十分な対策を講じる必要がある。

⇔ 開門は不可能ではない、しかし 630 億円！の対策費 ⇔ 亀井農相見送り表明

- 3) 今回実施中の開門アセス 3つのケース (制限的、段階的、当初から全開)

⇔ 1) と 2) で済んでおり、必要なのは 2) の不備を補う開門中の実測アセス

### 3. 段階的開門法

	第一段階(制限的開門)	第二段階(中間的開門)	第三段階(常時開門A案)	第三段階(常時開門B案)
開門方法	短期開門調査時の開門方法に準じ、1日1～2時間の開門(排水と海水導入量の漸増)	制限的開門を基本としつつアセスのために全開門も併用	常時全開門	全開を基本とし、内外水位差が一定以上を超えないように潜り開門も併用
開門期間	1～2年程度	1～2年程度	5年	
主要目的	調整池内の水質の改善	調整池底質改善、干潟の初歩的部分的再生、諫早湾内生態系の改善、第三段階のための実測アセス(内外水位差と開度に応じた流速分布とゲート振動)	潮流の回復と干潟の再生による諫早湾と有明海の再生	
制限要因	農業用水・塩害問題	調整池水位上昇時の降雨による背後地湛水問題	なし	
主な準備工	臨時的簡易ため池の設置、土嚢や仮設ポンプ等の設置、移動ポンプ車の配備	排水機場の逐次竣工	護床工拡張(限界流速が確定し必要と判明した場合に捨石工)、ゲート底部部品交換(震動測定で必要と判明した場合)、計画排水機場(11.4m <sup>2</sup> /s、17.8億円)の全完成	
準備工の期間	簡易ため池は数週間、土嚢や仮設ポンプは3日	1～3年(開門調査決定直後から着工)	着工から3年	
調整池水位	最高-1.0m	最高水位は竣工排水機場容量に応じて上げていく	大潮満潮時+2.0m	
	最低-1.2m	最低水位は大潮干潮時の-2.3m程度	大潮干潮時-1.0m	大潮干潮時-2.3m程度
開門中要監視項目	農地の塩分濃度(上昇時は散水)、調整池・河川のガタ土堆積(ボトルネックを生じれば浚渫)、高潮予報の時及び大雨による調整池への流入量が毎秒1000m <sup>3</sup> を超えて増加し、かつ内水位が外潮位より低い時は一時閉門措置(湛水程度は現行と大差なし)。			
重点調査内容	調整池内濁度(凝集沈降してから排水)と淡水生物の回避状況	護床工周辺の流速と底質洗掘の有無(護床工拡張の必要性判断)および排水門振動	なし	
モニタリング項目	気象、調整池水位、潮流潮向潮速、水質、底質、生物			
モニタリング地点	本明川、調整池、諫早湾、有明海			
効果確認項目	農業(アオコ・汚濁調整池水を使わない作物増産効果)・防災(湛水被害軽減効果)・漁業(漁獲量増大効果)			

(資料3・4参照)

### 4. 開門懸念論の数々

・福岡県麻生知事「一番の悪影響は、開門した場合、ため池状態になっている水が有明海に放流されるわけです。その結果として、あの流域の海洋条件がどう変わっていくのかということになります。」

⇨ 潮流鈍化と排水による被害が発生しているのは現在

・中村長崎県知事「開門すると調整池水位が上がり、洪水の危険性が増す」

山田副大臣「長崎県には台風や集中豪雨の時にどうなるのかという不安がある」

⇨ 河川洪水は河口水位と無関係。高潮予報時は閉門。背後地湛水被害対策…開門の第一段階は現行と不変、常時開門に向けてはポンプ場増設。(資料5～10参照)

・宮本諫早市長「湾が締め切られる前後の渦の移動、本明川に遡上する濁土の状況まで私は熟知している。(開門調査で)影響が出ないということはありませんと確信する」「13年前の堤防閉め切り前、狭い開口部で濁土が巻き上がった現象が、開門調査後も起きる」

⇨ ガタ土が堆積したら浚渫(資料8)。13年前は護床工のない場所。

・濱本長崎県農林部長「開門されて調整池の水位が上がれば、同じように干拓地も地下水が上がります。70センチより下には、まだ塩分濃度の高い層がありますから、地下水位が上がれば、それにあわせて塩分を含んだ水が上がってくるということで、耕作に必要なこういった地表面の塩分濃度も上がり、耕作ができなくなるということが考えられます。」

⇨ 閉め切り前の背後農地や他の有明海沿岸の農地と同条件になるだけ。(資料11)

・金子長崎県前知事「全然対策にならない。開門した翌日から長崎県は被害が出る」



## 5. 即時開門に向けての準備

- 1) 段階的開門法の決定、恒久的別水源と常時排水用ポンプ場建設のための予算措置と即時着工  
開門協議会の設置、開門調査実施と評価委再開のための有明海特措法改正
- 2) 制限的開門のための準備  
短期開門前に補修済みの旧樋門の再点検・補修  
土嚢・仮設ポンプ設置、移動ポンプ車の配置  
臨時的簡易ため池の設置
- 3) 中間的開門（中長期開門調査検討会議による机上アセスの不備を補う実測アセス）準備  
未改修旧樋門の補修・既存堤防クラックの補修
- 4) 水源・ポンプ場の工事完成（着工から3年）後に常時開門へ移行

以上

有明海漁民・市民ネットワーク事務局 羽生 洋三

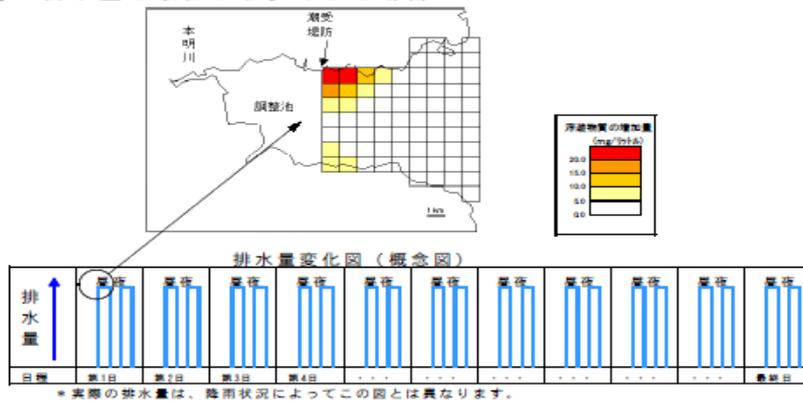
<http://www.justmystage.com/home/kenshou/index.html>

## <資料編>

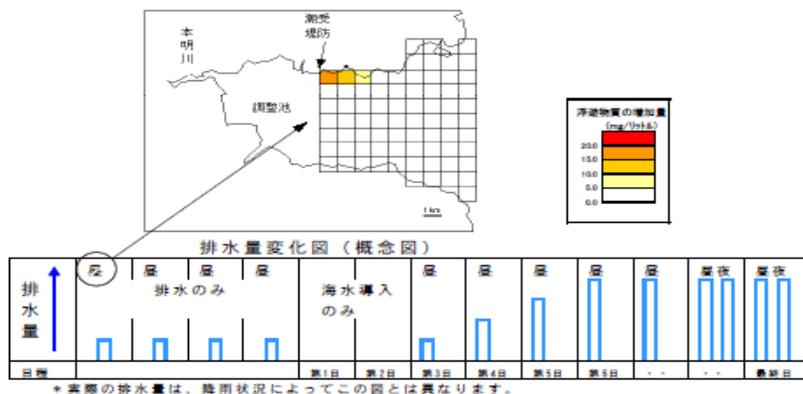
### 資料1（短期開門前の農水省パンプ）

#### ○ 開門時の濁りの増加量

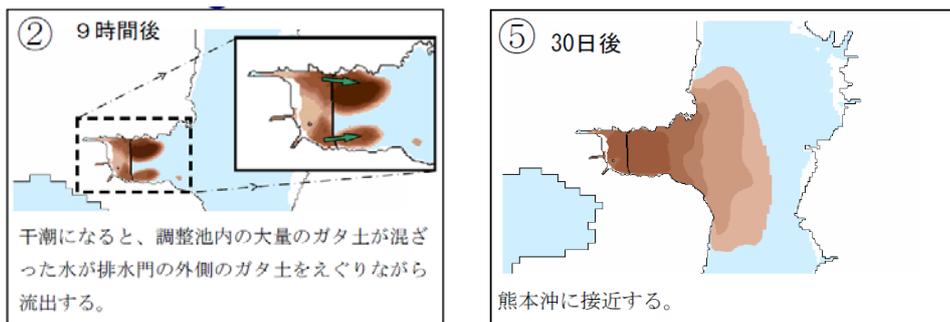
##### ① 排水量を最初から多くした場合



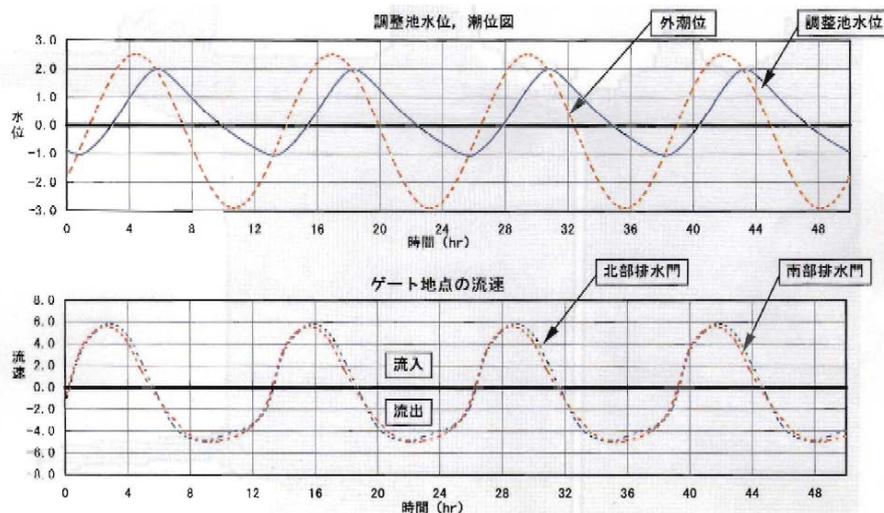
##### ② 排水量を段階的に増加させた場合



資料2 (中長期開門調査検討会議報告書)



資料3 常時全開・大潮時の水位・流速 (ノリ第三者委に提出された農水省資料)



<参考>

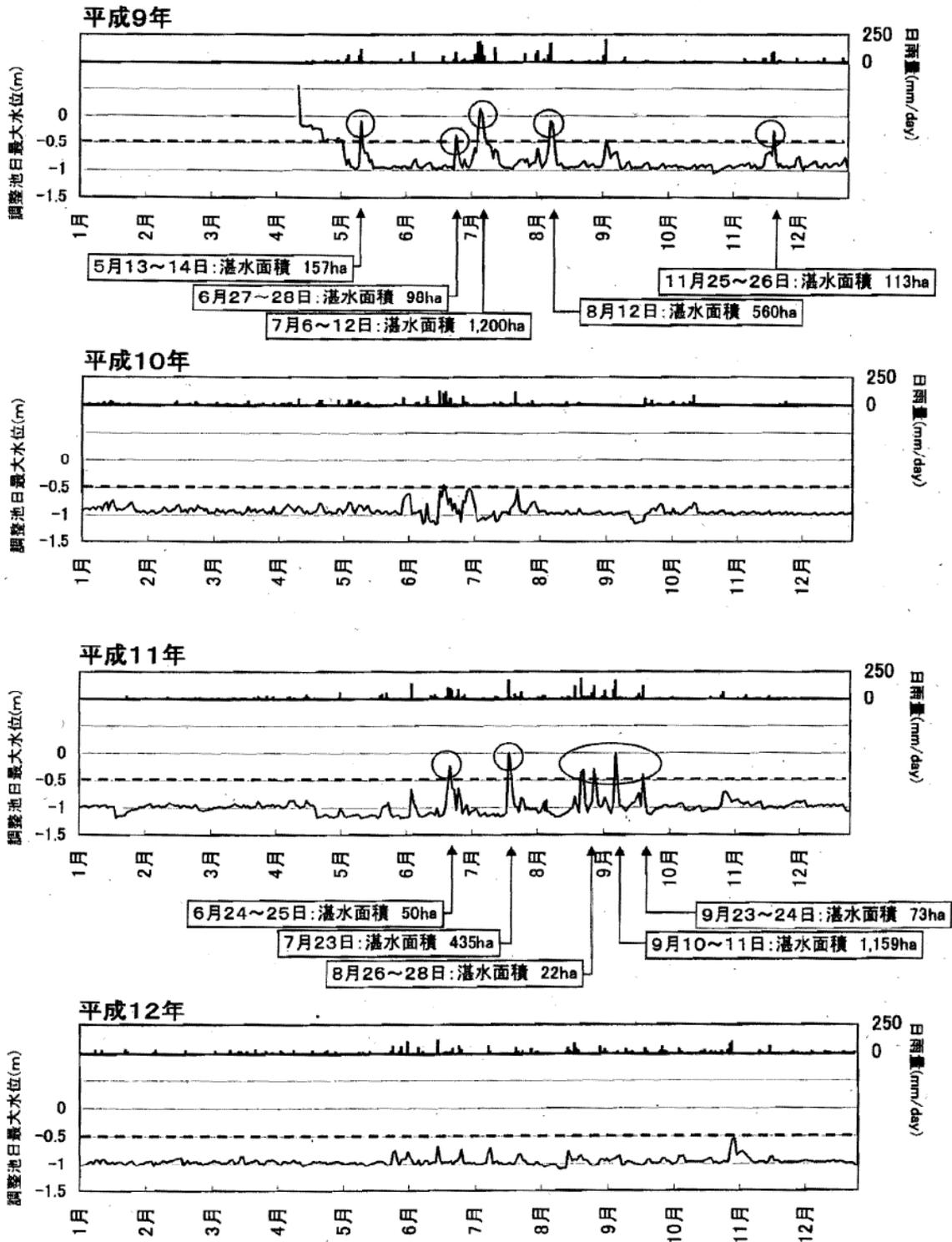
- ・流速は内外水位差で決定
- ・同一水量時流速比較  
水門直下 潜り > 全開  
周辺部 潜り < 全開

資料4 調整池内標高 (農水省説明資料)

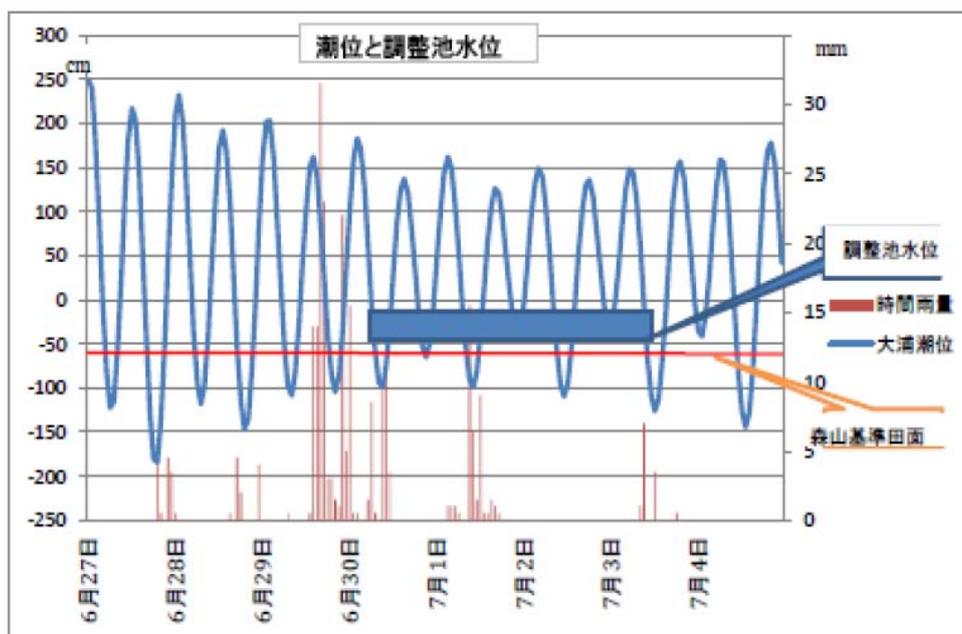


## 調整池水位の管理状況と背後地の湛水

平成9年4月の潮受堤防の締切り以降、調整池水位が標高マイナス約0.5m以上に上昇したときには、背後地に湛水が発生しています。



資料6 (有明海漁民・市民ネットワーク作成)



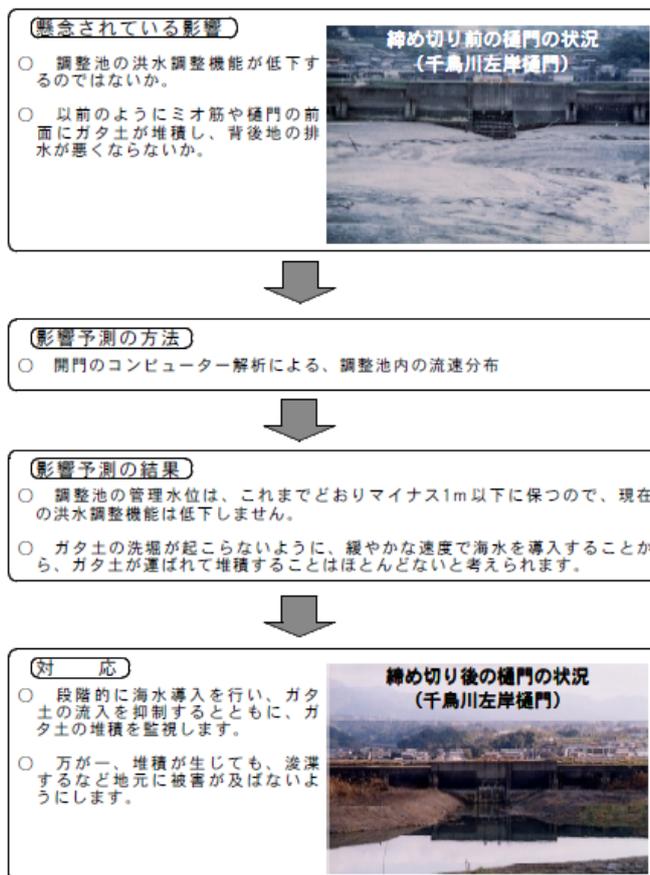
資料7

背後地湛水被害(長崎県調査データを農水省が公表)

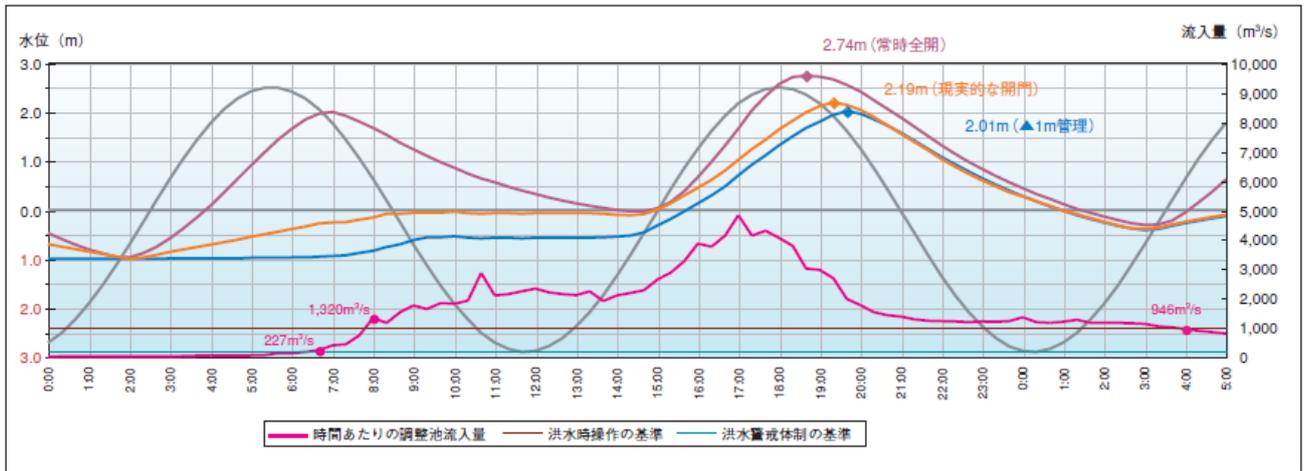
年月	湛水面積ha	1h最大雨量
1982年7月	540	99
1985年8月	15	69
1988年5月	692	87
1988年7月	542	75
1990年7月	1452	38
1991年6月	1634	49
1992年8月	250	54
7回/15年		
<閉め切り97/4/14>		
1997年5月	157	19
1997年6月	98	25
1997年7月	1200	32
1997年8月	560	54
1997年11月	113	67
1999年6月	50	28
1999年7月	435	101
1999年8月	22	51
1999年9月	1159	62
1999年9月	73	100
2001年7月	1131	71
2004年5月	41	31
2005年9月	6	16
2006年4月	104	24
2006年6月	599	60
2006年8月	1	35
2007年7月	250	58
17回/11年		

資料8 (短期開門前の農政局パンフ)

(2) 洪水調整機能の低下とガタ土の堆積



資料9 大潮満潮+諫早大水害降雨時の調整池水位（農水省試算+市民側試算）



資料10 必要排水ポンプ容量と経費（農水省試算）

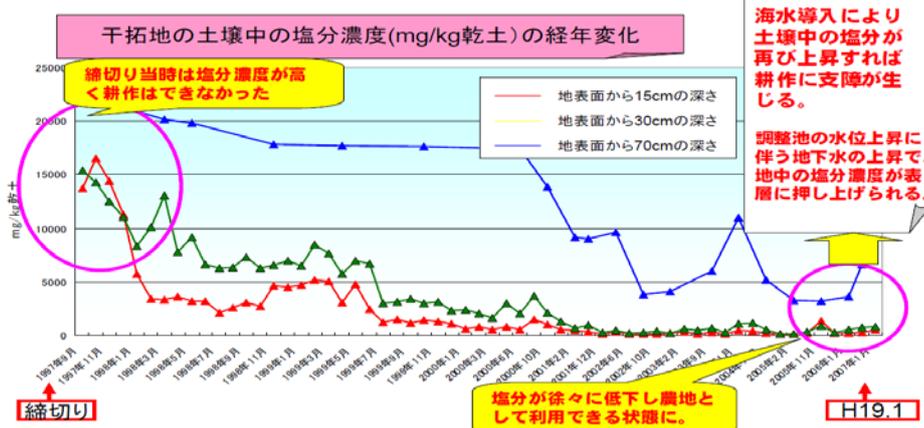
背後地排水対策（排水機場）概算工事費

内水域名	区分	排水機			工事費 (百万円)	摘要
		機種	口径	台数		
湯田川内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,650	4	2,674.4	
	常時用	水中ポンプ	φ800	1	160.0	
千鳥川右岸内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,650	4	2,565.9	
	常時用	水中ポンプ	φ500	1	100.0	
有明川右岸内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,350	2	1,083.1	
	常時用	水中ポンプ	φ700	1	140.0	
有明川左岸内水域	洪水用	横軸斜流	φ1,000	2	688.4	
	常時用	水中ポンプ	φ400	1	80.0	
釜ノ鼻内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,500	3	1,748.9	
	常時用	水中ポンプ	φ800	1	160.0	
仁反田川右岸内水域	洪水用	横軸斜流	φ1,350	2	1,067.3	
	常時用	水中ポンプ	φ600	1	120.0	
仁反田川左岸内水域	洪水用	横軸斜流	φ700	2	555.6	
	常時用	水中ポンプ	φ400	1	80.0	
小野島内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,500	3	1,685.1	
	常時用	水中ポンプ	φ800	2	320.0	
仲沖内水域	洪水用	横軸斜流	φ800	2	526.8	
	常時用	水中ポンプ	φ400	1	80.0	
小豆崎内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,650	2	1,369.6	
	常時用	水中ポンプ	φ700	1	140.0	
長田内水域	洪水用	横軸斜流	φ700	1	260.6	
	常時用	水中ポンプ	φ300	1	60.0	
白浜内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,650	3	2,070.1	
	常時用	水中ポンプ	φ900	1	180.0	
小江新聞内水域	洪水用	横軸斜流	φ800	2	536.4	
	常時用	水中ポンプ	φ400	1	80.0	
犬木内水域	洪水用	立軸斜流	φ1,650	2	1,386.7	
	常時用	水中ポンプ	φ400	1	80.0	
合計					19,998.9	

背後地湛水水深  
 - 1 m管理時 3.71m  
 常時全開時 3.84m  
 (管理規則遵守なら 3.76m)

洪水用 155.5m<sup>3</sup> (182.2 億円)  
 常時用 11.4m<sup>3</sup> (17.8 億円)

資料11 (長崎県作成資料)



試験営農開始

小江干拓地 1998年11月  
 中央干拓地 2000年7月